

2016年2月26日

会社名 株式会社ミュートス
 代表者名 代表取締役社長 佐藤 正晴
 問合せ先 広報担当 長谷川 宗平
 電話番号 06 - 6266 - 0440

ミュートス、独自調査結果

～ 医師のスキマ時間のスマートフォンの利用率・活用意向は若い年代、HP で高い ～

製薬企業を中心とした企業向け CRM/SFA に特化したシステムの開発及びインターネット関連システムの開発、企画運営、プロモーションサービスを手がける株式会社ミュートス（本社：大阪府大阪市 代表取締役社長：佐藤 正晴 以下、ミュートス）は、「スキマ時間の活用に関するアンケート」を実施いたしました。以下、結果をお知らせいたします。

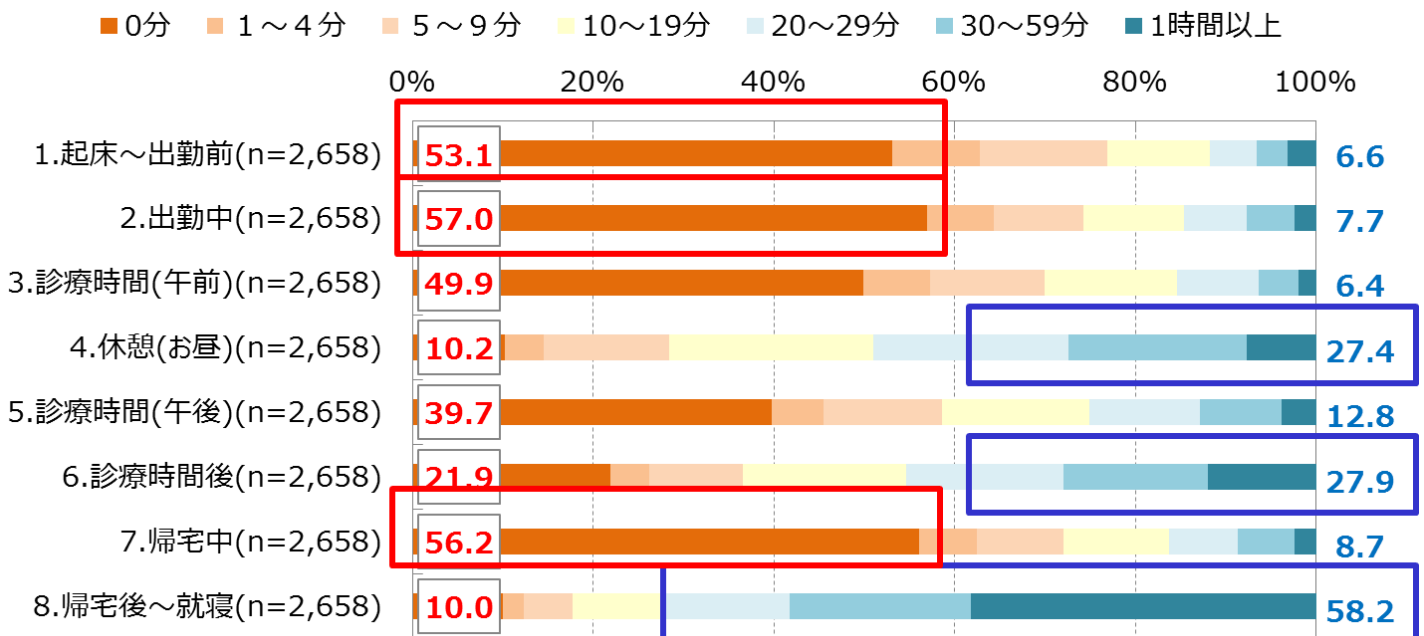
■サマリー

- ・医師はスキマ時間を有効活用したいと考えており、今後スマートフォンの利用がより増えていくと思われる
- ・スキマ時間でスマートフォンの利用率・活用意向は若い年代、HP で高い

■主な調査結果

【1】スキマ時間のあるタイミング

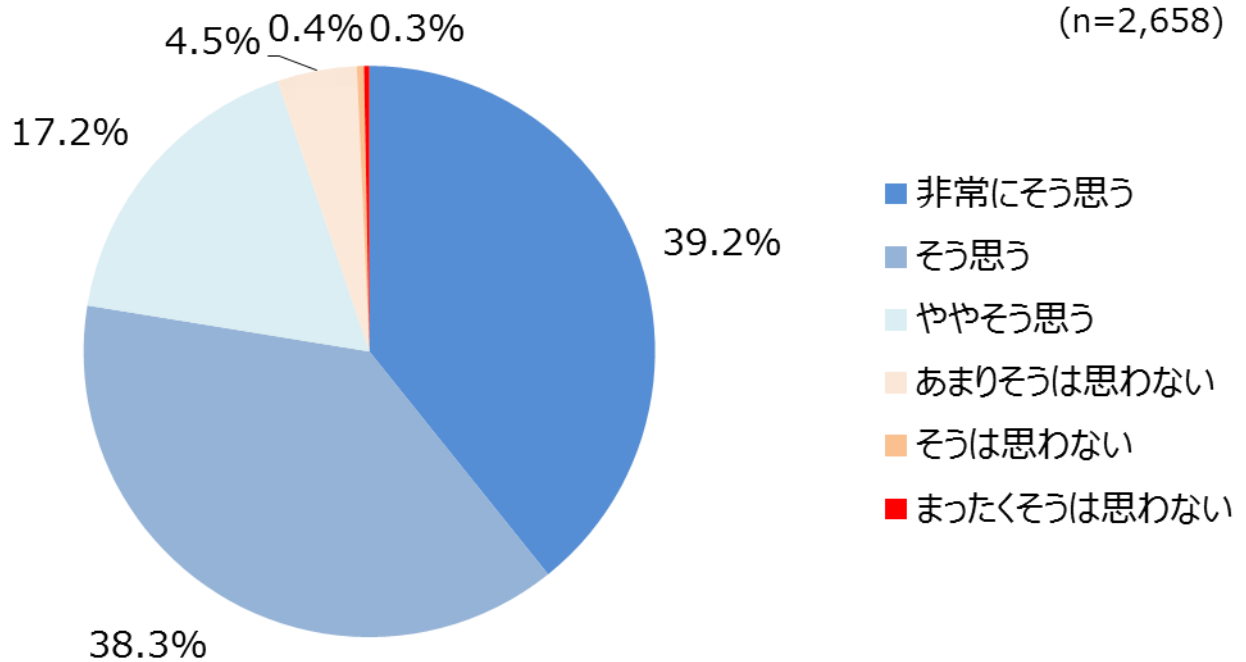
まとまったスキマ時間(30分以上)は帰宅後～就寝前が最も多く、次いで休憩(お昼)、診療時間後に多かった。スキマ時間が少ないのは出勤中、帰宅中、起床～出勤前であった。



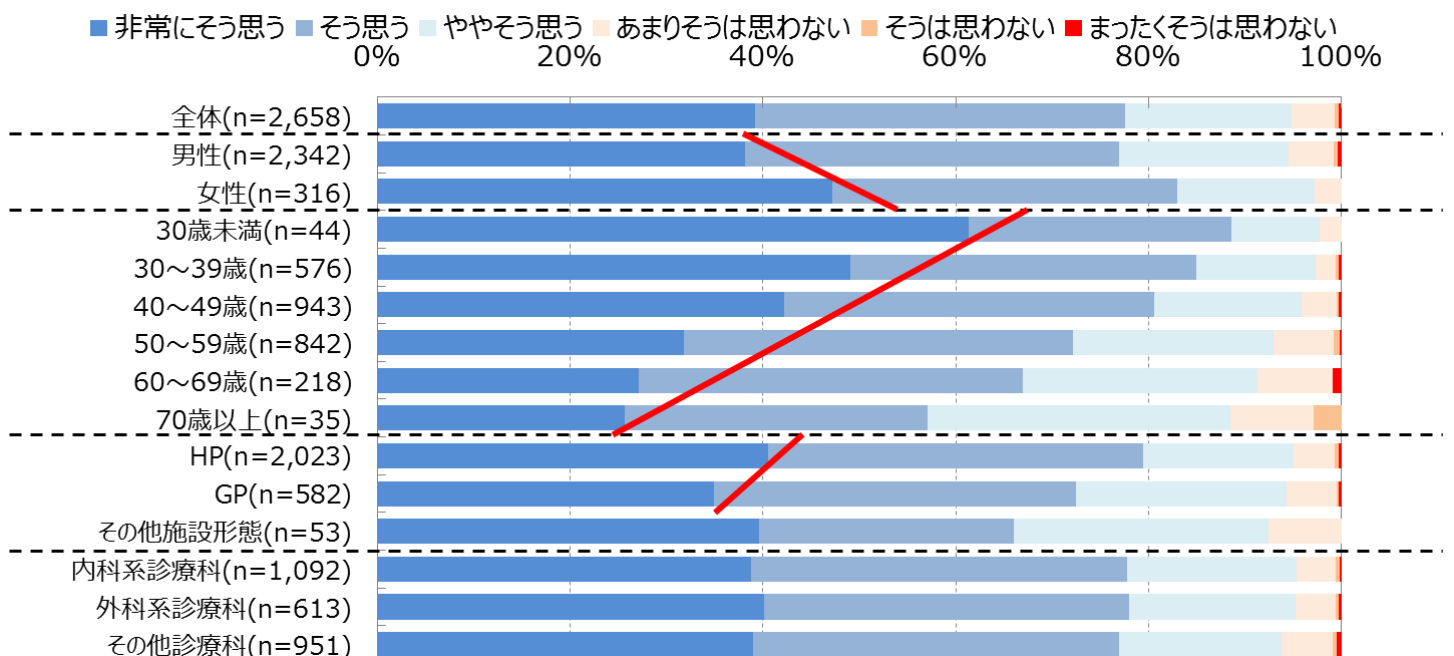
※赤数字：スキマ時間が0分の割合、青数字：スキマ時間が30分以上の割合

【2】スキマ時間の有効活用の意向

スキマ時間を有効に活用したいと思う医師は 94.7%であった。

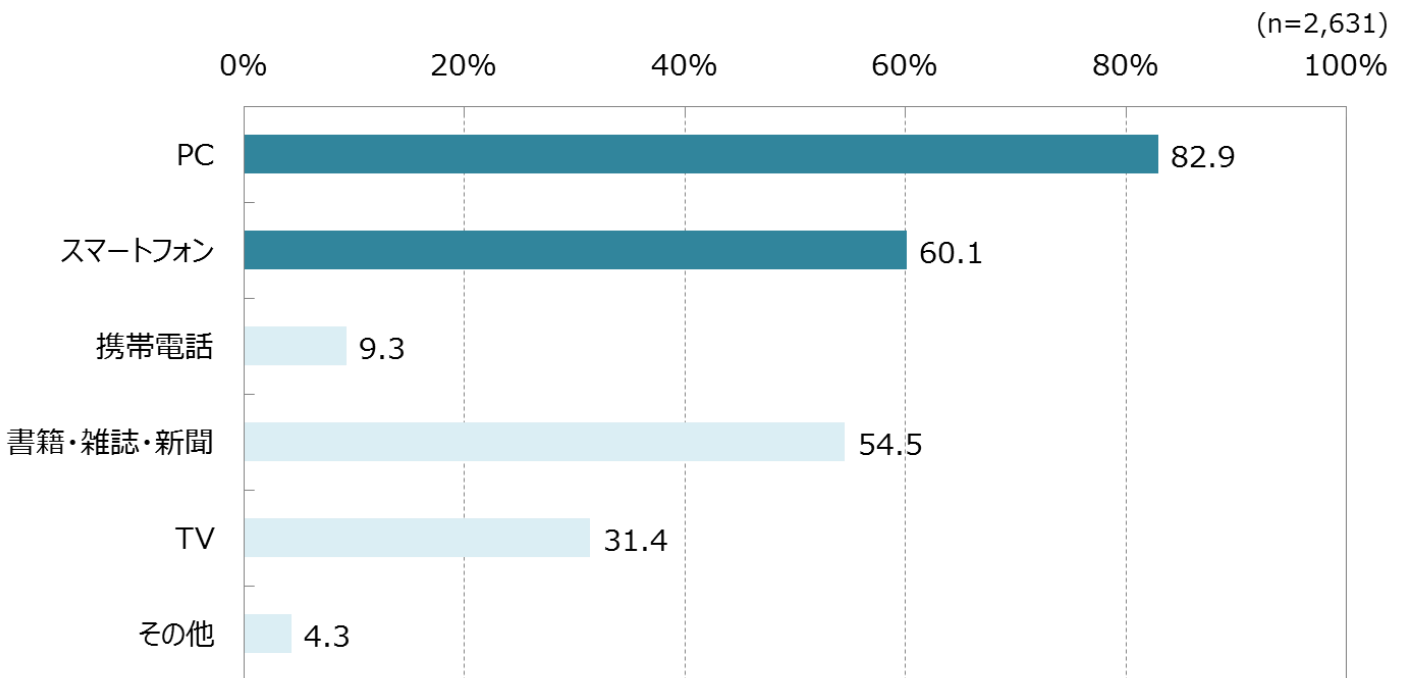


性別では女性が、年代では若い年代が、HP/GP ではHP がスキマ時間を有効活用したいと考えていた。



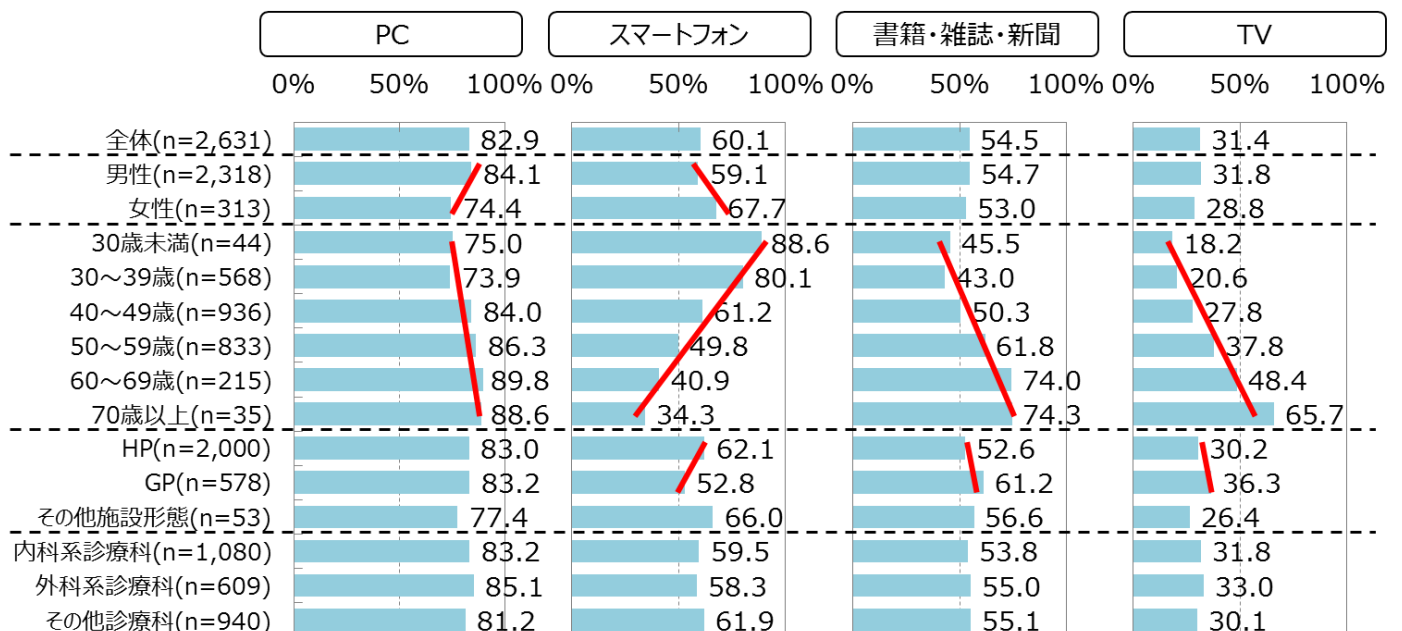
【3】スキマ時間に利用しているデバイス

スキマ時間に利用しているデバイスはPCが82.9%、スマートフォンが60.1%だった。



※スキマ時間が合計0分の医師を除く

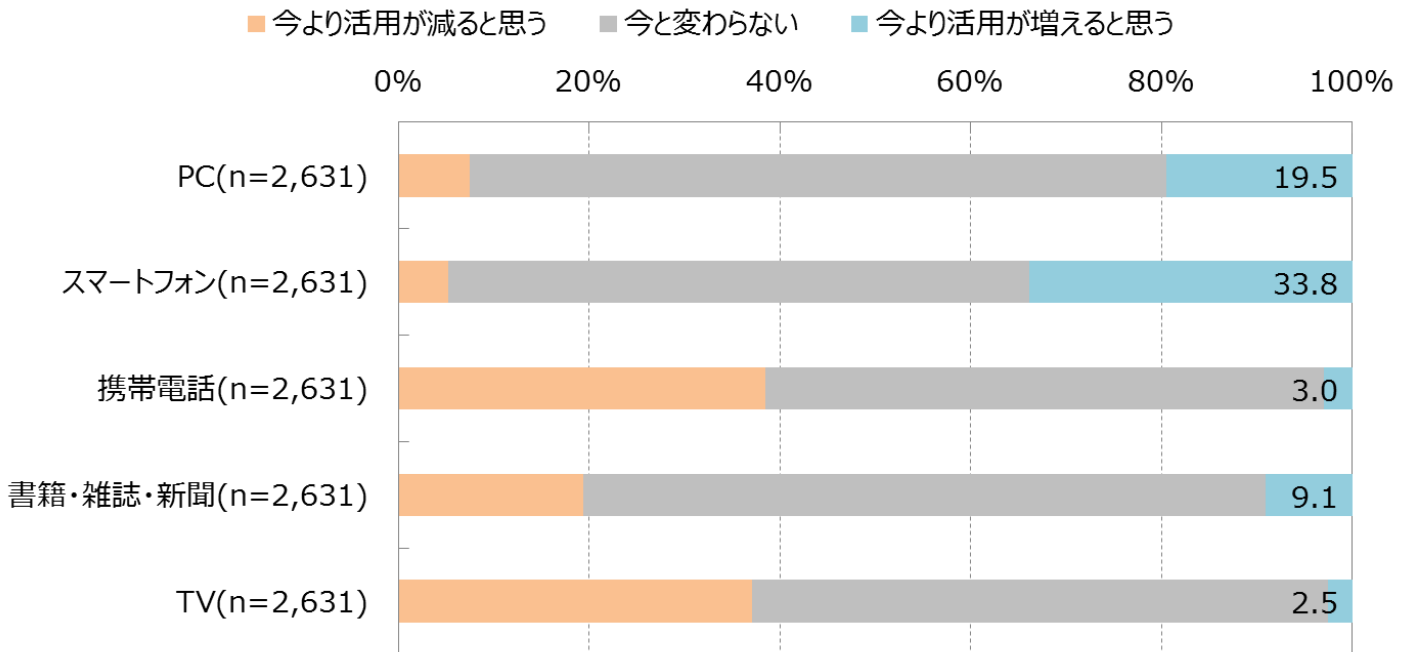
スキマ時間にスマートフォンを利用しているのは、男性より女性が、年代では若い年代が、HP/GPではHPが多かった。PC、書籍・雑誌・新聞、TVでは高齢の世代が多かった。



※スキマ時間が合計0分の医師を除く

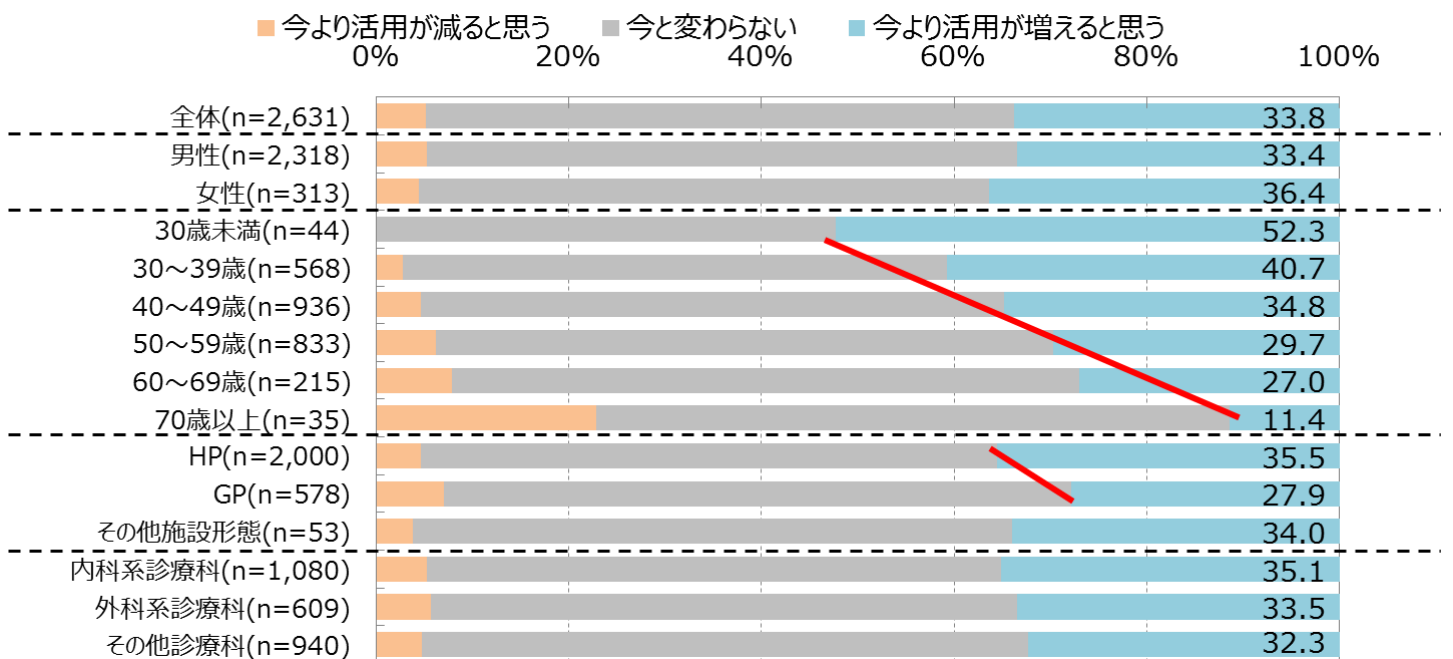
【4】スキマ時間に利用するデバイスの今後の活用意向

スマートフォンがもっとも今後の活用が増えると思われた。



※スキマ時間が合計0分の医師を除く

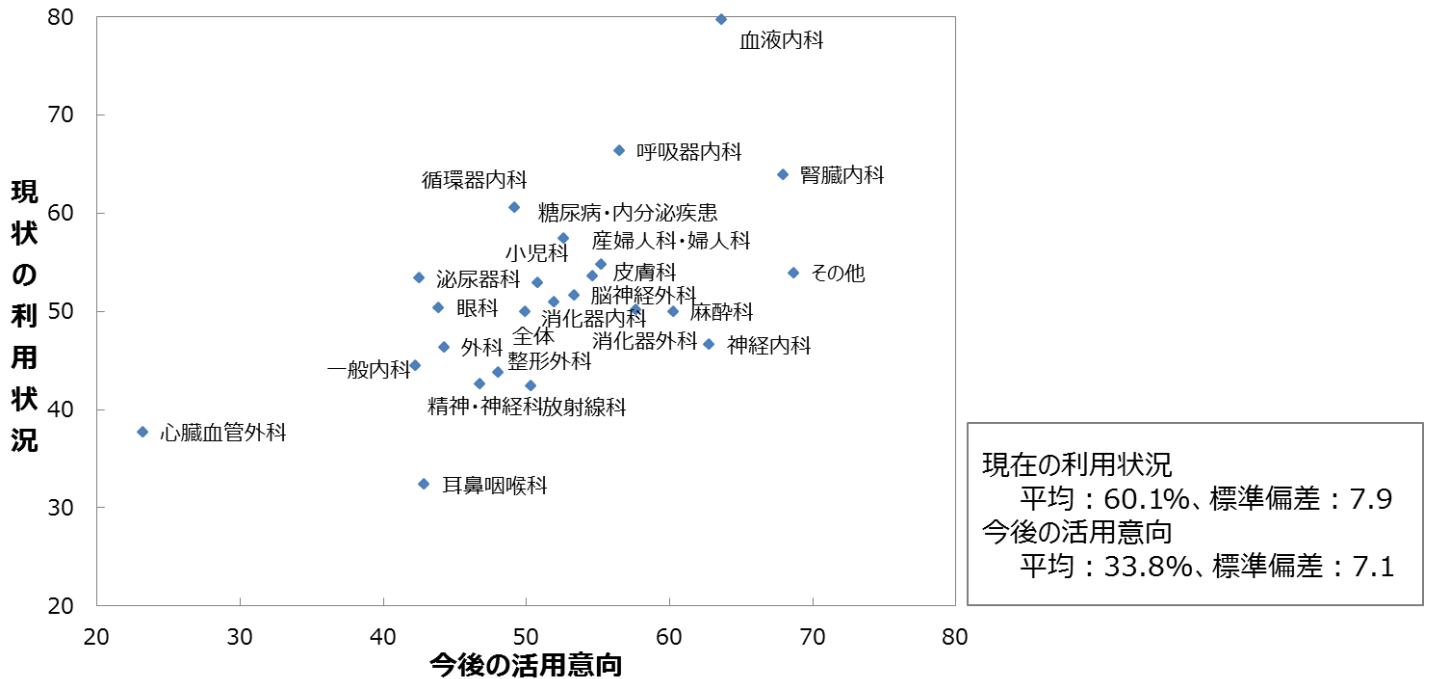
スマートフォンの今後の活用が増えると思われた回答は、年代では若い年代が、HP/GPではHPが多かった。



※スキマ時間が合計0分の医師を除く

【5】スキマ時間におけるスマートフォンの利用状況×今後の活用意向

現状の利用状況は血液内科、呼吸器内科、腎臓内科が高かった。今後の活用意向は腎臓内科、血液内科、神経内科が高かった(その他除く)。

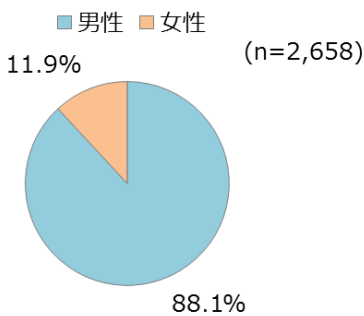


※スキマ時間が合計0分の医師以外。n<30の診療科は除外

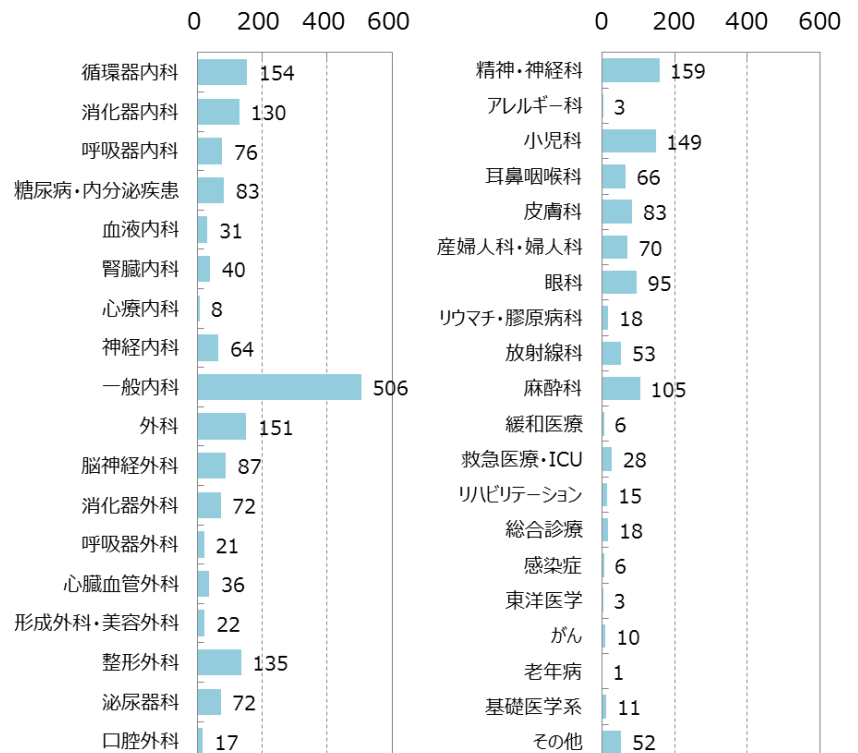
※全体の平均をベースとして、各診療科の偏差値を算出

【6】基本属性

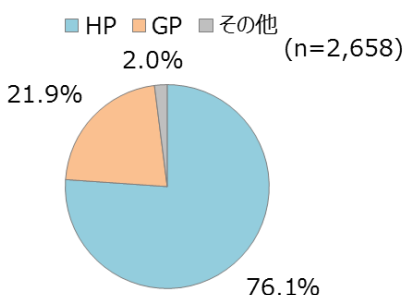
■性別



■主診療科(人数)



■施設形態



■調査概要

●調査項目

1. スキマ時間の実態(時間、活用方法)
2. スキマ時間の利用媒体と今後の活用意向
3. 情報収集をされる際の関心キーワード

●調査対象・サンプルサイズ 医師：2,658名

●調査手法 インターネット調査

※メディカルトリビューン調査パネル登録医師

●調査地域 全国

●調査期間 2015年12月18日～2016年2月16日

●用語定義 スキマ時間：待ち時間など生活の中で発生するちょっとした空き時間

■記事引用時のお願い

「株式会社ミュートス調査結果」とご明記ください。Web上での引用の場合には「株式会社ミュートス」に <http://www.mythos-jp.com/>へのリンクの付与をお願いいたします。

■お問い合わせ先

✚ 営業に関するお問い合わせ

Mail) salesg@mythos-jp.com 企画営業部 部長代理 薄井 信将

✚ プレスリリースに関する問い合わせ

Mail) info@mythos-jp.com 人事総務グループ 長谷川 宗平

以上